

ラ・フランスのわい化栽培に適した台木・中間台木の組合せ

福島県果樹試験場栽培部・平成5～10年度試験研究成績書参考文献

1 部門名 果樹－ナシ－形態・生育相 分類コード 04－03－05000000

2 要 旨

台木及び中間台の組み合わせによるラ・フランスのわい化性と果実品質に及ぼす影響を知るため、クインズA台(A)に中間台としてオールド・ホーム(OH)、ブーレ・アルデー(BH)、フレミッシュ・ビューティー(FB)、クインズBA29台(BA)にはオールド・ホーム、ブーレ・アルデー中間台、クインズC台(C)にはブーレ・アルデー中間台、セイヨウサンザシ台(S)にはセイヨウナナカマド[®](Cr)中間台、チョウセンマメナシ台単独について調査した。なお、チョウセンマメナシ台はわい化性、生産効率が低いとため、平成7年度に調査を中止した。

わい化性は、BH/Cが高く、BH/BAが低かった。累積収量では、S/Cr、BH/BAが多く、OH/BA、BH/Cが低かった。幹断面積当たり収量(生産効率)は、BH/A=BH/C、FB/A、BH/BAの順に高く、OH/BAが最も低かった。収穫果及び追熟果の果実品質では、BH/CのRM示度が高く、特に追熟後に高かった。また、調査期間に追熟果の内部褐変がOH/BA、BH/C、S/Crで発生した。その他の品質については、特に組合せによる顕著な差は認められなかった。

以上の結果から、ラ・フランスのわい化栽培に適した台木と中間台の組み合わせは、ブーレ・アルデー/クインズBA29台、フレミッシュ・ビューティー/クインズA台、ブーレ・アルデー/クインズA台と判断された。